

# 北小ものがたり



話す人をしっかりと見ながら聞く6年生、「最高の旅」への自覚が各所に表れていました。

## とても素晴らしい修学旅行でした

5月21日～23日まで6年生が修学旅行に行ってきました。

今回の修学旅行は、活動の支障になるような雨も降らず、比較的過ごしやすい天候の中、3日間の行程を終えることができたように思います。

今年のテーマは、「とにかく楽しもう！ 学ぼう！ 協力して最高の旅を ～笑顔のチームワークで～」でした。結団式の校長の話の中で、「テーマにある最高の旅とは、どのような状態か。」ということを経年生に考えてもらいました。考える中で、6年生は、「みんなが「最高」になるためには自分だけが楽しいだけではだめで、ほかの友達のことでも考えなければいけない。」ということをお話してくれました。

1日目の国会見学では、大理石でできた荘重なつくりの建物や、ふかふかのレッドカーペットを体感することができました。国立科学博物館では、それぞれの班で見学したいところを相談しながら回っていました。お互いの主張をうまく調整することが上手にできていると感じました。

2日目のメイン、ディズニーランド。修学旅行の中で一番楽しみにしていた人が多かった訪問場所です。天候にも恵まれ、来場者数も比較的少なかったため、予定していたよりも多くのアトラクションを回れたようでした。

3日目は、鎌倉班別自主見学でした。それぞれの班で見学したい場所を事前に決めて臨みました。朝の渋滞による遅延の中、6年生は見学場所での時間は大切にしつつも、メリハリのつけた行動ができたように思います。当日の日程変更で計画通りに行動できなかった班もありましたが、それぞれの班で班員が協力する中で、歴史を感じさせる初夏の鎌倉を散策することができました。

帰校式、6年生に、「この修学旅行は「最高」なものになりましたか。」と問いかけました。子ども達が思い描いた「最高」はそれぞれ違うと思いますが、校長として3日間の6年生の行動を総括すると、子ども達はそれぞれの「最高」に向けて一生懸命頑張っていました。それぞれが大きく成長した6年生、6年生にはこの旅行で得た貴重な経験をこれからの人生や学校生活に役立ててほしいと思います。

竜王北小ホームページから（各学年の記事を公開しています。ぜひご覧ください。）

### 3年生 校区探検に行きました。

3年生になりあつという間に1ヶ月が経とうとしています。緊張していた子どもたちも、新しいクラスでの生活にだんだんと慣れてきました。クラスの仲間と声を掛け合いながら、新しい学習、新しい掃除分担、新しい係活動などに一生懸命取り組んでいます。



社会科で校区探検へ行きました。北コース（下今井地区）と、東コース（新町地区）に歩いてきました。土地の様子や町並みを確認したり、竜王北小学校の周りの地域にある文化財等を見たりして教室だけでは経験できない充実した学習になりました。

（5 / 10）

### 2年生 「学校案内をしたよ！」

4月28日、生活科の学習で1年生に学校案内をしました。

4月に入学してきたばかりの1年生が学校生活で困ることのないよう、どの教室を案内しようかな？何を伝えようかな？と考えながら準備を進めていました。

学校案内当日は、回る順番を間違えずに、練習の成果を十分に発揮し上手に説明することができたようです。しっかりと手をつなぎ、ペースを合わせながら歩く2年生の姿に成長を感じました。



（5 / 13）

## 児童総会

2

5月15日（木）に児童総会が行われました。

児童会活動は教育課程に位置付けられた活動で、小学校学習指導要領によれば、「異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組む」こととなっています。校長としては、民主主義の実際を学ぶ場としても大変大切な機会であると思っています。

総会は、3年生以上の児童が参加して行いました（1、2年生は児童会の準会員となっています）。

児童会のテーマ、具体的な活動の柱、委員会の活動計画について話し合いが進められていきましたが、途中、「廊下はさみ（走らない、さわがない、右側通行）」については、集中的な話し合いが行われ、各クラスの中で、活発な議論が行われました。

話し合いを通して、今年の児童会の活動の方針が定められました。今年の児童会の活動スローガンは、「輝き ～友情あふれる学校～」です。より良い学校に向けて児童会活動を進めていってほしいと思います。

## 校長より

1学期も折り返しを過ぎ、生徒指導上の話からすれば「魔の6月」とも言う時期になってきました。学年初めの緊張感もなくなり、雨も多くなるこの時期は、登校のリズムが乱れがちになります。足がなかなか学校へ向かないなど登校に関して気になることがありましたら、早めに担任・学校まで相談していただきたいと思います。早急に対応いたします。

低学年から高学年まで、総じて子ども達は校長をはじめ教職員に対して素直に心を開いている児童が多く、本校の特色ともいえる素晴らしいことだと思っています。このことはとりもなおさず、保護者の方々の家庭での教育の賜物でもあり感謝しています。これからも学校と家庭で手を取り合って一つの方向を向いていくことができればと思います。保護者の皆様のご協力をお願いいたします。